

図書館の中の美術展

－本で親しむ絵画の世界－

読書の秋、芸術の秋。図書館で美術鑑賞を楽しみませんか。

今回の展示「図書館の中の美術展－本で親しむ絵画の世界－」では、県立近代美術館の特別展と連携し、出陳される画家の画集を中心とした図書を展示しています。

近代美術館に行く前に、行った後に、図書でも絵画をお楽しみください。

展示図書の紹介

『田中恭吉作品集』（田中 恭吉／著 玲風書房 1997年）

すさまじく印象的な作品の数々を残し、わずか23歳で病のために短い生涯を閉じた田中恭吉。本書では、田中恭吉の絵画作品と、恩地孝四郎が出版を断念していた『田中恭吉遺作集』のための原稿などをまとめている、田中恭吉の芸術へよせる熱い思いや人物像もわかる1冊である。

和歌山県立近代美術館 特別展

「動き出す！絵画 ペール北山の夢

モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち

平成28年11月19日(土)～平成29年1月15日(日)

県立図書館で展示している画家の作品を実際に見られる、めったにないチャンスです！ぜひ美術館にも行ってみてください。

観覧料等、詳しくはホームページでご確認ください。

和歌山県立近代美術館

開館時間：9:30-17:00（入場は16:30まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）

〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14

TEL. 073-436-8690 <http://www.momaw.jp/>



和歌山県立図書館

〒641-0051 和歌山市西高松1-7-38 TEL 073-436-9500

<https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/>

展示図書の一例

【モネ・ゴッホ・ピカソなど外国人画家の画集】

- 『クロード・モネ 1840-1926』(カリン・ザークナー=デュティンク/著 タツシエン・ジャパン 2001年)
『ファン・ゴッホ神話』(園府寺 司/編集 テレビ朝日 1992年)
『不滅のピカソ 1881~1907』(ジュゼップ・パラウ・イ・ファブレ/著 平凡社 1983年)
『マチスとピカソ』(イヴ=アラン・ポア/著 日本経済新聞社 2000年)
『セザンヌ』(セザンヌ/[画] 婦人画報社 1996年)
『ルノワール 伝統と革新』(ルノワール/[画] 読売新聞大阪本社 2010年)
『ムンク画集 油彩、下絵、習作』(ムンク/[画] リブレポート 1991年)
『ミレーとバルビゾン派の画家たち』(ミレー/[ほか画] 毎日新聞社 1996年)
『現代世界美術全集 6 ドガ』(座右宝刊行会/編集制作 集英社 1971年)

【大正の若い洋画家たちの画集】

- 『岸田劉生画集』(岸田 劉生/画 岩波書店 1984年)
『田中恭吉作品集』(田中 恭吉/著 玲風書房 1997年)
『藤島武二展』(藤島 武二/[画] 石橋財団ブリヂストン美術館 2002年)
『碓伊之助展』(和歌山県立近代美術館/編 和歌山県立近代美術館 1974年)
『万鉄五郎・傑作への道程』(万 鉄五郎/[画] 岩手県文化振興事業団 1992年)
『現代日本美術全集 11 坂本繁二郎』(座右宝刊行会/編集制作 集英社 1977年)
『カンヴァス日本の名画 18 梅原龍三郎』(井上 靖/ほか編集委員 中央公論社 1979年)

【絵画鑑賞を楽しむための本】

- 『印象派から20世紀名画に隠れた謎を解く!』(吉岡 正人/著 中央公論新社 2007年)
『図説・ゼロからわかる西洋絵画入門』(岡部 昌幸/監修 実務教育出版 2015年)
『大正期美術展覧会の研究』(東京文化財研究所美術部/編 中央公論美術出版 2005年)
『名画に隠された「二重の謎」』(三浦 篤/著 小学館 2012年)
『太陽と「仁丹」』(田中 淳/著 ブリュッケ 2012年)

展示図書は75冊!

このほかにも、閲覧室：棚番号24や書庫に
たくさん画集や研究書があります。お気軽に
調査相談カウンターにお尋ねください。

